

# 市民のくらし守って全力あげる日本共産党

住民税の大増税  
消えた年金

今議会には、一般会計補正予算など34件が提案されました。共産党市議団は、補正予算や議員定数削減議案など7件に反対し、農民連が請願した農業まもれなどその他の議案には賛成しました。市民生活がいっそう厳しくなるなかで、党議員団は「あいづ自殺者の背景に、貧困と生活苦がある」ことをするべく告発するなど、大増税と負担増から、市民のいのちとくらしを守る大きな存在感を発揮して積極的に論戦をおこないました。党市議団は市民の要求と苦しみを代弁した論戦と市民の運動により、子どもの医療費助成が中学まで拡大されるなど、今議会でも市民要求が前進しました。

## 大増税でも 保育料は上げない

公明党が言い出し、自民党と組んで強行した定率減税廃止で、収入は増えないのに住民税が「2倍になった」「1.0倍になった」。それが保育料金アップにつながります。平林ちえみ市議は、子育て真最中の家庭への負担増に対策を求めました。市は、保育料が増えることのないように基準額表の階層区分を見直すことを明らかにしました。

## 市がくらし支援策に動く

マスクも注目して報道した、4月開設の「多重債務相談・支援室」には、多数の相談が寄せられています。自殺を踏み止まらせた相談者もあるなど成果をあげています。「地域経済再生・支援緊急対策本部」が設置され、市民の生活を守るとともに地元消費対策、雇用の安定・創出対策などを緊急に実施・推進されます。

## 介護認定者に 障害者控除の適用を

森まさる市議は、市の介護認定者が2千人で、障害者控除の認定書が交付されれば、所得税が10数万円安くなり、住民税が下がり、保育料や介護保険料も下がることを具体的に示して、すべての対象者にただちに通知するよう求めました。また、国保税、市民税の減免、医療費の一部減免、介護保険料の減免などの制度をひろく市民が活用できるように求めました。

これらの施策を党市議団は毎年、市へ要望書してきました。04年6月議会では、森まさる市議が、市民のくらしを応援する「市民アンケート調査」の実施を提案。多重債務相談についても、府内でただひとつの多重債務相談組織「おおぼこ」の経験も紹介し、その対策を求めています。

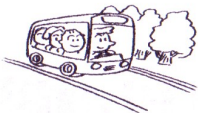
## 上限200円バス 市内全路線に拡大、市バス料金も検討

市は、10月から上限200円バスを、全但バスと市営バスも加え、市内の全路線に拡大することを決めました。

## 市民と共産党市議団のねばり強いとりくみ実る 子どもの医療費助成が 中学まで実現

旧町のときから新日本婦人の会などが要求しつづけて、共産党も市議会一般質問で4回にわたりとりあげるなど、一貫して求めてきた子どもの医療費助成が9月から中学生まで実現しました。共産党はひきつづき、その・現物支給・と高校生までの拡充に力をつきます。

共産党は今年度の予算要望で「市営巡回バスを市内全域に広げること。低額運賃バスの対象地域を広げ、通院・通学など生活関連交通整備・充実をはかること」を要望するとともに、昨年9月には間人・経ヶ岬間への運行を求める請願（469署名）の取り組みを応援してきました。6月議会では、松田せいけい市議が市営バスの改善を求めるなど、「生活の足」確保に力を尽くしてきました。党市議団は引き続き、該当しない地域への拡充を求めて奮闘します。



### 日本共産党...

## 「大企業減税見直し」 いえる党だから 庶民増税反対きっぱり

### 自公も民主も...大企業からおカネもらって大企業減税に熱心

政府は「国が赤字だから」といいますがとんでもありません。大企業や資本家には、1.7兆円減税の大盤振舞。庶民には定率減税の廃止で1.7兆円の大増税。

「法人税を10%に減らせ。財源は消費税で」（日本経団連）、こんな身勝手な要求ときっぱり対決し、国民の利益をまもって行動できるのは、大企業から一円も受け取らない日本共産党ではないでしょうか。

## 年金問題 納付記録複写交付を

### 党市議団が申し入れ

6月28日、市長に市民の不安を取り除くための市民サービスとして、ただちに実施すること」として国民年金納付記録の複写の交付や履歴紹介の取り次ぎ、必要な証明書の無料発行を実施するよう申し入れました。